

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ママズクラブ葛島店		7年3月14日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		十分なスペースが確保されていると思う。1人当たり2.42㎡以上のスペースは確保している。現状30㎡を確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		システムで人員配置数を確認し職員の休日を決めている。曜日の利用児やその日の状態に合わせて適切に配置をかんがえている。	配置は適切だが、曜日、お子さんの状態によってヘルプが必要なことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		バリアフリー化、パーテーションを使用し構造化など環境設定をしている。階段の手すり等の設置もされている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の活動後の清掃、整理を重ねている。活動に合わせて場所を設定、毎日掃除をしている。課題室や体育館と活動に合わせた場所がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		お子さんの状態によって使用する部屋は変えている。クールダウンや状態がよくない時は個室や多目的室の使用が認められている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員会で目標設定と振り返りの話し合いが行われている。	振り返りの時間を全員では行っていないので今後改善が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		設けられている。評価後共有されている。保護者の評価表は職員会で共有し話し合い等も行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会や終礼等で意見交換を行い業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		スキルアップ、権利擁護研修等を受けている。定期的に研修に参加している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		職員間で話し合い、共有の元作成されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		作成されている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員間で共有し全体で作成されている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個々の計画に沿いながら支援を行っている。	HUGに移行したことでより共有しやすくなったと思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		スケジュールや絵カードを必要に応じて使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児発が計画書を作成し作成されたものを全体で共有したり案を出し合いながら支援内容を決めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		担当者を中心にチームで共有、作成されている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		平日、休日ともに活動内容を変更している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別と集団、メリハリをもって組み合わせられていると思う。お子さんの状況に合わせた活動を行いST個別も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼での確認、細かいことは来所前に行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼での振り返り、共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		HUGでの記録、気づきシートを活用している。	HUGに移行してからも、日々の記録は抜かりなく記入を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングの話合いが開かれ適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		組合せている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		集団などでも取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発が中心となり行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		必要に応じて行っている。送迎時に下校時間や様子等の確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		必要に応じて行っている。通所決定後、保育園や児童発達支援に見学、情報共有させていただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	これまでに実例がないですが、情報提供等できるようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	ディートレやベアトレの研修を受けたりしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	交流する機会がなかった。	感染症対策等で現状行えていないので、交流の機会を作っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	現状参加できていない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	お迎え時、送迎時に情報共有を行っている。	事業所からは様子をお伝えすることはあるが、保護者さんから伝えていただくことは少ない気がします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	保護者会の時などに実施している。	もっと機会を増やしたいです。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		児発が契約時に必ず説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		見学、契約、面談に確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		面談等で説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて面談や助言支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会を行っている。きょうだい同士での交流は今後検討していきたい。	保護者会の回数を増やしていく、今まで不参加だった保護者さんにも参加していただけるように努める。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		すみやかに対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HUGで毎日発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		十分に留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		自分なりに工夫をし、配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		現状行えていないが今後検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	策定、周知している。定期的に訓練を行い保護者さんにも周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントシート、マニュアルで確認し共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		飲食時に配慮し対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全管理を行い、支援をしている。車両点検、タイヤ交換等の練習を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎週月曜に共有する時間を可能な限り設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止の研修が定期的であり、参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		十分に説明し了解を得たうえで記載されている。利用前に許可を得ている。		